

平成29年10月30日

## 平成30年3月期 中間決算の概要

### I 連結決算（別添1）

（単位：億円、単位未満切捨て）

	中間期					通期			
	平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減		備考	平成28年度 実績 C	平成29年度 見通し D	増 減	
			金額 B-A	% B/A				金額 D-C	% D/C
営業収益	911	935	+23	+2.6		1,902	1,966	+64	+3.4
営業費用	864	881	+17	+2.0		1,777	1,855	+77	+4.4
営業利益	47	53	+5	+12.2		124	110	-13	-11.5
経常利益	37	45	+7	+20.5		103	91	-12	-12.1
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	22	34	+12	+53.9		129	68	-60	-47.6

#### 1. 経営成績

(1) 営業収益 935億円（対前年同期 +23億円／+2.6%）

- ・コンテナ収入の増、車扱収入の増、利用運送事業収入の増 等

（参考）輸送量 1,495万トン（対前年同期 +47万トン／+3.3%）

- ・コンテナ 1,099万トン（対前年同期 +42万トン／+4.0%）

積合せ貨物、自動車部品、食料工業品の増送、紙・パルプの減送 等

- ・車扱 396万トン（対前年同期 +5万トン／+1.3%）

石油の増送 等

(2) 営業費用 881億円（対前年同期 +17億円／+2.0%）

- ・厚生福利費の増等による人件費の増
- ・修繕費（建物、線路設備、車両等）の増
- ・線路使用料の増等による変動費の増
- ・利用運送事業売上原価の増 等

(3) 営業利益 53億円（対前年同期 +5億円／+12.2%）

(4) 経常利益 45億円（対前年同期 +7億円／+20.5%）

(5) 親会社株主に帰属する中間純利益 34億円（対前年同期 +12億円／+53.9%）

## 2. 財政状態

(1) 資産の部 3,995億円 (対前期末 -55億円 / -1.4%)

・未収入金の減 等

(2) 負債の部 3,105億円 (対前期末 -94億円 / -3.0%)

・未払金の減、長期借入金の増 等

(3) 純資産の部 890億円 (対前期末 +39億円 / +4.6%)

・親会社株主に帰属する中間純利益による株主資本 (利益剰余金) の積増し 等

## 3. セグメント情報

(単位：億円、単位未満切捨て)

		中間期			
		平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減	
				金額 B-A	% B/A
鉄道ロジスティクス事業	売上高	806	831	+25	+3.1
	営業利益	-6	0	+6	-
不動産事業	売上高	107	104	-3	-3.4
	営業利益	53	51	-1	-3.4
その他	売上高	51	50	-0	-1.9
	営業利益	-0	0	+0	-

### (1) 鉄道ロジスティクス事業

・当社のコンテナ収入の増、車扱収入の増、子会社の利用運送事業収入の増 等

### (2) 不動産事業

・当社の分譲マンション売却収入 (前期) の反動減 等

### (3) その他

・子会社の解散による収入及び費用の減 等

## 4. キャッシュ・フローの状況

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー +61億円

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー -75億円

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー +7億円

## 5. 連結の範囲

(1) 連結子会社 24社 (対前期末 -1社)

(2) 持分法適用会社 11社 (対前期末 増減無し)

## II 単体決算（別添2）

（単位：億円、単位未満切捨て）

			中間期				備考
			平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減		
					金額 B - A	% B / A	
鉄道 事業	営業収益	651	676	+25	+3.9	4年連続増収	
	営業費用	663	680	+17	+2.6		
	営業利益	-12	-4	+8	-	3年連続損失減少	
関連 事業	営業収益	89	85	-3	-4.0		
	営業費用	37	34	-3	-8.4		
	営業利益	51	51	-0	-0.9		
全事業	営業収益	740	761	+21	+2.9	4年連続増収	
	営業費用	701	715	+14	+2.0		
	営業利益	39	46	+7	+19.4	6年連続増益、中間期決算開始（平成9年度～）以来最高益	
経常利益		29	38	+9	+31.7	6年連続増益、中間期決算開始（平成9年度～）以来最高益	
中間純利益		18	32	+14	+78.2	6年連続増益、中間期決算開始（平成9年度～）以来最高益	

### 1. 経営成績

#### (1) 鉄道事業

- ① 営業収益 676億円（対前年同期 +25億円／+3.9%）
  - ・コンテナ収入の増（+26億円）、車扱収入の増（+2億円）等
- ② 営業費用 680億円（対前年同期 +17億円／+2.6%）
  - ・人件費の増、修繕費の増、線路使用料の増、減価償却費の増、動力費の減（電力の減・流動燃料の増）等
- ③ 営業利益 -4億円（対前年同期 +8億円／-）

#### (2) 関連事業

- ① 営業収益 85億円（対前年同期 -3億円／-4.0%）
  - ・前期分譲マンション売却収入の反動減 等
- ② 営業費用 34億円（対前年同期 -3億円／-8.4%）
  - ・分譲マンション仕入経費の反動減 等
- ③ 営業利益 51億円（対前年同期 -0億円／-0.9%）

(3) 経常利益 38億円（対前年同期 +9億円／+31.7%）

(4) 特別損益 9億円（対前年同期 +10億円／-）  
 ・梶ヶ谷貨物ターミナル駅土地収用に伴う特別利益 等

(5) 中間純利益 32億円（対前年同期 +14億円／+78.2%）

### 2. 財政状態

(1) 資産の部 3,574億円（対前期末 -83億円／-2.3%）

(2) 負債の部 2,901億円（対前期末 -115億円／-3.8%）

・未払金の減 等

(参考) 当期末長期債務 1,576億円 (対前期末 -5億円 / -0.4%)

・有利子債務 737億円 (対前期末 -71億円 / -8.9%)

・無利子債務 838億円 (対前期末 +65億円 / +8.5%)

(3) 純資産の部 673億円 (対前期末 +32億円 / +5.1%)

・中間純利益による株主資本 (利益剰余金) の積増し 等

### 3. 品目別輸送実績表

(単位：千トン、単位未満四捨五入)

		中間期			
		平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減	
				輸送量 B - A	% B / A
コンテナ	農産品・青果物	826	848	+22	+2.7
	化学工業品	1,029	1,044	+14	+1.3
	化学薬品	694	725	+31	+4.4
	食料工業品	1,895	1,951	+55	+2.9
	紙・パルプ	1,534	1,480	-54	-3.5
	他工業品	727	791	+64	+8.8
	積合せ貨物	1,299	1,389	+89	+6.8
	自動車部品	333	421	+87	+26.1
	家電・情報機器	217	220	+2	+1.1
	エコ関連物資	222	244	+22	+10.1
	その他	1,791	1,883	+91	+5.1
	計	10,571	10,995	+424	+4.0
車 扱	石油	2,498	2,603	+105	+4.2
	セメント・石灰石	702	632	-70	-10.0
	車両	398	397	-1	-0.2
	その他	311	330	+19	+6.0
	計	3,910	3,962	+52	+1.3
合 計		14,481	14,957	+476	+3.3

## 収支比較表（連結）

（単位：億円、単位未満切捨て）

	中間期			主な増減事由
	平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減 金額 B - A	
営業収益	911	935	+23	<当社> コンテナ収入の増（積合せ貨物、自動車部品、 食料工業品等）、車扱収入の増（石油等） 等  <子会社> 利用運送事業収入の増 等
営業費	864	881	+17	<当社> 人件費、修繕費、線路使用料の増 動力費の減 等  <子会社> 利用運送事業売上原価の増 等
営業利益	47	53	+5	
営業外損益	-10	-8	+1	
経常利益	37	45	+7	
特別損益	-1	9	+10	<当社> 梶ヶ谷貨物ターミナル駅用地の売却益（収用） 等
税金等調整前中間純利益	36	54	+18	
法人税、住民税及び事業税	9	16	+7	
法人税等調整額	2	0	-1	
中間純利益	23	36	+12	
非支配株主に帰属する中間 純利益	1	1	+0	
親会社株主に帰属する中間 純利益	22	34	+12	

## 収支比較表（単体）

（単位：億円、単位未満切捨て）

	中間期			主な増減事由
	平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減	
			金額 B - A	
鉄道事業				
営業収益	651	676	+25	
運輸収入	561	589	+28	
コンテナ	520	546	+26	積合せ貨物、自動車部品、食料工業品の増 等
車扱	41	43	+2	石油の増 等
その他収入	90	86	-3	受取保険金の減 等
営業費	663	680	+17	
人件費	194	200	+5	厚生福利費の増 等
物件費	353	361	+7	
動力費	67	64	-3	電力の減、流動燃料の増
修繕費	71	76	+4	建物・線路設備・車両修繕の増 等
鉄道線路使用料	85	89	+4	単価の増 等
その他	130	131	+1	
減価償却費	87	89	+2	コンテナリースの増 等
租税公課	29	30	+1	
厚生福利施設費相殺	-2	-2	-0	
営業利益	-12	-4	+8	
関連事業				
営業収益	89	85	-3	分譲マンション売却収入（前期）の反動減 等
営業費	37	34	-3	
人件費	1	1	+0	
物件費	16	13	-2	
修繕費	1	1	+0	
その他	14	11	-3	分譲マンション仕入経費（前期）の反動減 等
減価償却費	12	11	-0	
租税公課	7	7	+0	
厚生福利施設費相殺	-0	-0	+0	
営業利益	51	51	-0	
全事業営業利益	39	46	+7	
営業外損益	-10	-8	+1	
経常利益	29	38	+9	
特別損益	-1	9	+10	梶ヶ谷貨物ターミナル駅土地収用に伴う特別利益 等
税引前中間純利益	27	47	+20	
法人税、住民税及び事業税	7	14	+7	
法人税等調整額	2	0	-1	
中間純利益	18	32	+14	

# 連結財務諸表作成上の連結対象会社と開示セグメント

別添3

親会社  
(1社)

連結  
子会社  
(24社)

持分法  
適用会社  
(11社)

## 鉄道ロジスティクス事業

日本貨物鉄道(株)

鉄道事業

倉庫・物資別 8社

日本オイルターミナル(株)  
日本運輸倉庫(株)  
名光急送(株)  
東京輸送(株)

(株)オー・エル・エス  
関西化成品輸送(株)  
(株)大阪鉄道倉庫  
(株)東京液体化成品センター

利用運送 2社

全国通運(株)

日本フレートライナー(株)

ロジスティクス 11社

(株)ジェイアール貨物・北海道物流	(株)ジェイアール貨物・東海ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・東北ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・北陸ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・北関東ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・西日本ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・中国ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・新潟ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・九州ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・信州ロジスティクス	

関連・その他 1社

北九州貨物鉄道施設保有(株)

## 不動産事業

関連事業

関連・その他 1社

(株)ジェイアール貨物・不動産開発

## その他

関連・その他 1社

ジェイアールエフ商事(株)

臨海鉄道10社

八戸臨海鉄道(株)	鹿島臨海鉄道(株)	衣浦臨海鉄道(株)
仙台臨海鉄道(株)	京葉臨海鉄道(株)	水島臨海鉄道(株)
秋田臨海鉄道(株)	神奈川臨海鉄道(株)	
福島臨海鉄道(株)	名古屋臨海鉄道(株)	

倉庫・物資別 1社

セメントターミナル(株)

計36社